

「加工食品輸出クラスター」の組成による加工食品の輸出促進

「加工食品輸出クラスター」とは？

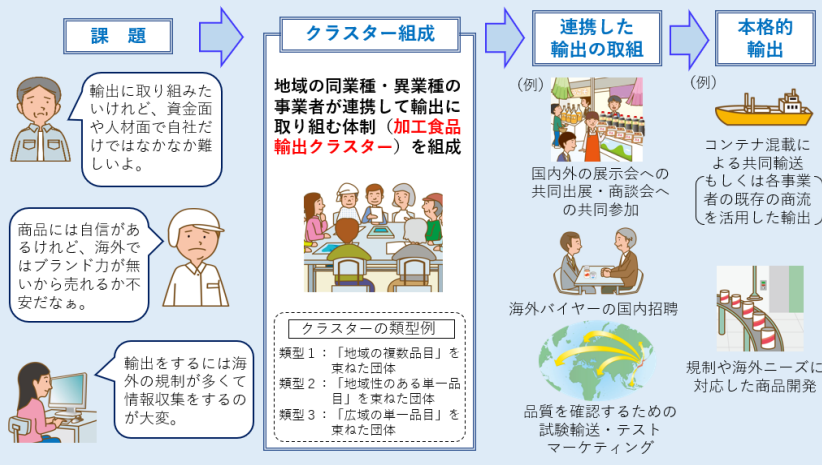
我が国の農林水産物・食品の輸出額は2024年に1兆5,000億円を突破しましたが、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円という輸出目標を達成するためには、加工食品の輸出促進に向けて更なる取組が不可欠です。一方で、**地域の中小食品製造事業者**においては、輸出に意欲はあっても個社単独で輸出を行うには、**輸出ノウハウの不足や人的面・資金面等の課題も多い状況**です。このため、東北農政局では、**地域の同業種もしくは異業種の複数の事業者が連携して輸出の取組を行う「加工食品輸出クラスター」**の組成等を支援しています（図1、2）。

輸出に取り組みたいけれど、資金面や人材面で自社だけではなかなか難しいよ。

商品には自信があるけれど、海外ではブランド力が無いから売れるか不安だなあ。

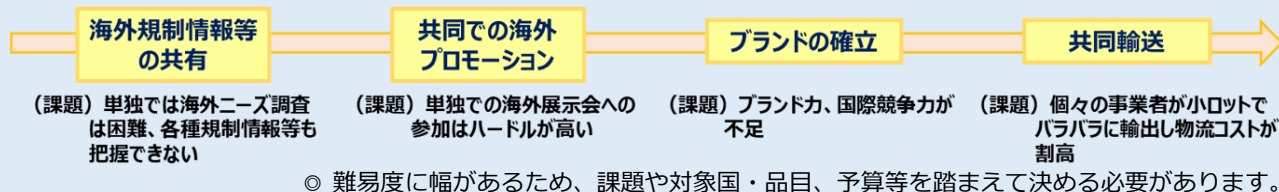
輸出をするには海外の規制が多くて情報収集をするのが大変。

【図1】加工食品輸出クラスターによる輸出促進に向けた取組



クラスター組成に必要な手続きなどは、食品企業課 加工食品輸出担当(022-221-6146)にお問い合わせください

【図2】加工食品輸出クラスターの取組内容（例）及び難易度（イメージ）



【図3】東北地方における加工食品輸出クラスターの事例

- ①AOMORI サステナブルブランド協議会
- ②ハチカン事業協同組合
- ③青森県輸出促進協議会

- ④EKIBEN WORLD TEAM
- ⑦秋田県加工食品輸出拡大協議会
- ⑧大潟村農産物・加工品輸出促進協議会

- ⑬山形県食品輸出コンソーシアム

- ⑭福島県はまなかあひづ食品輸出コンソーシアム

- ⑮いわきブランド輸出拡大協議会

- ⑯発酵を核としたローカル食品輸出拡大コンソーシアム

- ④岩手穀物加工食品輸出コンソーシアム
- ⑤いわて加工食品輸出促進研究会

- ③三陸水産加工品輸出拡大協議会
- ⑩東北・食文化輸出推進事業協同組合
- ⑪石巻食品輸出振興協議会
- ⑫宮城県味噌醤油工業協同組合

凡例（東北農政局 食品企業課 調べ）
・橙色は令和5年度、青色は令和6年度に組成された加工食品クラスターを示す

東北地方における

「加工食品輸出クラスター」の現状

東北地方の各地域においては、食品製造事業者等による**加工食品輸出クラスター**が新たに組成され、連携した輸出の取組が始まっているほか、既存の団体が新たに加工食品輸出クラスターとして加工食品の輸出に取り組むケースも出ており、現在は**16のクラスター**が活動しています（図3）。

◇ 東北における加工食品輸出クラスターに関する情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。
(https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/kakou_yusyutu/index.html)

上記紙面の問合せ先：東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課 022-221-6146



東北農業発展のため現場の声を大切に！！



10月1日付で新たに東北農政局長に就任した永井局長を紹介します！

ながい はるのぶ
永井 春信 (57歳)

- ・出身地：東京都
- ・前 職：独立行政法人農業者年金基金理事
- ・趣味：ハイキング、吹奏楽鑑賞

(東北農政局長としての抱負)

東北の農政を預かる立場として、まず、取り組みたいと考えているのは、東日本大震災からの復旧・復興です。震災から14年6か月経過し復興に向けて新たなステージに入っています。被災地を回り、現地に足を運び、丁寧に現場の声を聞き、被災地に寄り添いながら、復興に向けた課題解決に向け取り組んでまいります。さらに、需要に応じた米の生産販売の推進については、令和9年度からの水田政策の見直しにあたり、農業者をはじめとした皆さまにしっかり情報を提供し、地域の皆さまのお声をうかがうよう努めてまいります。

これ以外にも、担い手の育成確保、スマート農業の推進、輸出の促進、気候変動対策とみどりの食料システム戦略の推進、農業生産基盤の整備保全、農村の振興、自然災害への対応など多くの課題があると承知しています。自ら現場に積極的に足を運び、多くの意見をうかがうとともに、本省や関係機関と連携し課題を解決し、東北農業の発展に向け力を尽くす所存ですので、皆さまよろしくお願いたします。

<永井局長就任記者会見より抜粋>

公表しました！

東北農政局では、令和6年度東北食料・農業・農村をめぐる事情を公表しました 🍎🍎🍎

詳しくは、こちらからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/seisaku/zyousei/file/25.html>



問合せ先：東北農政局企画調整室 022-221-6103

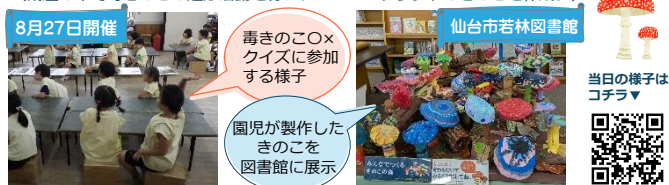


令和6年度 東北食料・農業・農村をめぐる事情
～特集：動いた食料・農業・農村計画～

令和6年度 東北食料・農業・農村をめぐる事情
～特集：動いた食料・農業・農村計画～

有毒な野生きのこによる食中毒の予防に関する情報発信の一環として、幼稚園で講座を開催しました。

東北農政局では、毎年、有毒な野生きのこによる食中毒の予防に関する情報発信を行っています。夏の終わりから秋にかけて、毒きのこを食用きのこに誤認して採取・喫食することによる食中毒が多く発生する中、未就学児等が公園等において、毒きのこに触れたり採取してしまう事例があることから、本年度は未就学児等向けの食中毒予防に関する情報発信の一環として幼稚園で講座を行いました。(講座の中で毒きのこの造形活動を行い、ペーパークラフトのきのこを作成。)



8月27日開催

毒きのこ×クイズに参加する様子

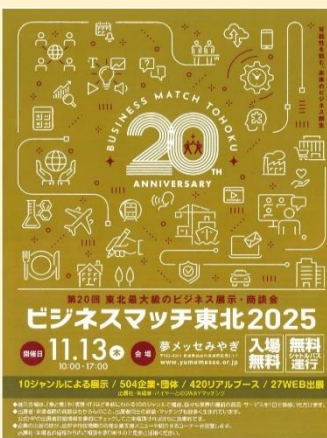
園児が製作したきのこを図書館に展示

仙台市若林図書館

当日の様子はコチラ▼



ビジネスマッチ東北2025が開催されます



今年、第20回の記念開催を迎えた東北最大級のビジネス展示・商談会「ビジネスマッチ東北2025」は、「食と農」「情報・IT」など10のジャンルで構成されており、504の企業・団体が参加、420リアルブース及び27WEB出展を予定しています。

会場では様々な業界の最新の商品・サービスを1日で体感できます。

東北農政局でも「企業支援相談コーナー」にブースを設けてお待ちしております。

- ★入場無料
- ★来場者事前登録制

◆開催日時：2025年11月13日(木) 10:00～17:00

◆開催場所：夢メッセみやぎ(仙台市宮城野区)

※仙台駅東口駅前広場から無料シャトルバスの運行があります。アクセスマップ、無料シャトルバスの情報はコチラから。

【外部リンク】https://www.bmtohoku.jp/info_raiyou/



※そのほか開催に係る詳しい情報はコチラからご確認ください。

【外部リンク】<https://www.bmtohoku.jp/>

高病原性鳥インフルエンザに注意！
渡り鳥シーズンへの備え

- ◎ 防鳥ネットや壁に穴はあいていませんか？
農場内の整理・整頓を行い、一見隙間がなさそうな家きん舎の侵入口や、普段目が届きにくい場所などを再点検しましょう。
 - ◎ 家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか？
消毒等が適切にできているか、動線が交差していないか確認し、全ての従業員・外来事業者で衛生対策を徹底しましょう。
- 家きん舎の周囲には、ウイルスの侵入経路が多く存在しています。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止のため、今一度、点検・確認をお願いします。

鳥インフルエンザに関する情報はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年に山形県の農場で発生以降、宮城県と岩手県で発生しています。なお、野生イノシシの豚熱感染は、東北全県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱に関する情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱に関する情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



野生イノシシの豚熱検査情報に関する情報はコチラ
https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html



目的の二次元コードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元コードを隠した状態で読み込んでください。

◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

@MAFF_TOHOKU

東北農政局 公式 X
アカウントはこちら



◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム
022-263-1111 (内線4402、4076)

@maff Tohoku

東北農政局公式
Instagram
アカウントはこちら

